

8/13/23

「キリストの弟子として歩んでいますか？」

ルカ 14:25-33

テーマ：イエス・キリストの弟子として歩むとはどういうことなのか

※2 テモテ 4:7

「私は勇敢に戦い、走るべき道のを走り終え、信仰を守り通しました。」

※ヘブル 12:1

「こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り続けようではありませんか。」

●場面：イエス様と共に歩いていた“群衆たち”(25)

※ルカ 9:18-19

「さて、イエスがひとりで祈っておられたとき、弟子たちがいっしょにいた。イエスは彼らに尋ねて言われた。「群衆はわたしのことをだれだと言っていますか。」彼らは、答えて言った。『バプテスマのヨハネだと言っています。ある者はエリヤだと言い、またほかの人々は、昔の預言者のひとりが生き返ったのだとも言っています。』」

○キリストの弟子として歩むこと：三つのポイント

1. キリストを_____こと(26)

※マタイ 15:3-4

「…なぜ、あなたがたも、自分たちの言い伝えのために神の戒めを犯すのですか。神は『あなたの父と母を敬え』、また『父や母をのしる者は死刑に処せられる』と言われたのです。」

※ルカ 6:27

「しかし、いま聞いているあなたがたに、わたしはこう言います。あなたの敵を愛しなさい。あなたを憎む者に善を行いなさい。」

※エペソ 5:25

「夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。」

※マタイ 10:37

「わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。また、わたしよりも息子や娘を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。」

※ルカ 6:46

「なぜ、わたしを『主よ、主よ』と呼びながら、わたしの言うことを行わないのですか。」

※ヨハネ 14:15

「もしあなたがたがわたしを愛するなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。」

2. 自分の_____を背負うこと(27)

●十字架を背負って従うこと：三つの言葉

1) 「自分の」：従うとは_____なもの

2) 「付いて来ない者」：従うとは_____なもの

※ルカ 9:23

「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。」

3) 「自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は」：従うことは_____なもの

※2 テモテ 3:12

「確かに、キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます。」

3. _____を考えること(28-33)

※ヨハネ 1:1

「初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。」

※コロサイ 1:15-16

「御子は、見えない神のかたちであり、造られたすべてのものより先に生まれた方です。なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。…」

※ヨハネ 1:14

「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。」

※ピリピ 2:6-7

「キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿となり、人間と同じようになられました。」

※ヨハネ 3:16

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」

1 ヨハネ 4:8-10

「愛のない者に、神はわかりません。なぜなら神は愛だからです。神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。」

「イエス・キリストに従うことは、人生における最大の冒険です。それには人生最大の目的、キリストだけに属する栄光を追い求めることが伴います。人生最大の必要、イエスだけが与えることのできる罪の赦しにも出会います。人生最大の喜び、キリストを知ることを通してのみ得られる喜びをも与えてくれます。人生最大の関係、イエスと密接に歩むという交わりをも含まれます。人生最大の教え、キリストだけが持っておられる知恵をも与えてくれますし、人生最大の力、勝利に生きるためのイエス・キリストの恵みをも注いでくれます。それはこの世での人生の後の最大の目的地、すなわち天におけるイエス御自身の臨在へとも導くものであるのです。」(スティーブ・ローソン)